

評価項目	取り組み状況
教育・保育方針と内容	<ul style="list-style-type: none">・「一人一人がいきいきと活動しているか～子どもの「心」に視点を当てて～」を研究テーマに据え、子ども達の心にどのように寄り添っていくのかということに視点を置き教育保育を進めていった。自尊感情を育むこども主体の支援を学んだことは、自分達の保育の見直しや職員間のつながりも深まった。・「人とつながる力」「感性の育み」を学ぶことで、日々の教育保育の中で意識し活用していくことに繋がった。今後どのように継続して取り組み、振り返りをしていくかが課題である。
健康支援	<ul style="list-style-type: none">・保健指導では各学年の発達や姿に合わせて、身体のことや感染予防等を行った。絵本や視覚教材を用い、子ども達がより理解していく方法を工夫した。・健康について、保護者への情報提供に加え、園での取り組みを分かりやすく知らせ、園と家庭で共に意識して取り組めるよう努めた。・園で過ごしている子ども達の体調や様子の変化を共有できるよう、視診表やノート、伝達を丁寧に行った。
安全指導・危機管理	<ul style="list-style-type: none">・毎月の避難訓練では、改修工事のため避難経路や職員の動きが違ってくるので、事前の打ち合わせで様々な動きをシュミレーションした。そのことが職員全体の危機管理の意識向上につながった。・工事のため通路が狭くなったり、使用できる範囲が限られたりした。怪我がないようどのように行動するか、子ども達とも一緒に考え安全に過ごせるようルールを決める機会をもった。・子どもの急激な体調異変などに対応するため、実際の動き（救急車を呼ぶなど）を全職員で研修し、学んだ。
食育の推進	<ul style="list-style-type: none">・工事のためプランターでの栽培となったが、夏野菜で、何を育てたいか子ども達と考え、生長を楽しみ、心待ちにしていけるよう取り組んだ。収穫やクッキング等、子ども達が実際に触れ、経験していくことで食に対するの興味や育ちを促した。・温かいご飯の提供、目の前での配膳がスタートした。食の興味が広がったとともに、自身の適量を知る機会にもつながった。
子育て支援（在園児および地域）	<ul style="list-style-type: none">・送迎時に保護者に声を掛け、成長や家庭の姿を共有していくことを心掛けた。そのことが信頼関係を作り、相談しやすい関係に繋がった。・こども達や保護者と積極的にかかわることを意識し、その時の様子を職員間で共有し、どの子も安心して過ごせるよう意識した。
インクルーシブ教育保育	<ul style="list-style-type: none">・職員間で子ども達一人一人の様子や配慮することを共有し、職員会議などでそれぞれが工夫していることを伝えあう機会を設けた。・人権研修で災害時避難所に避難して、外国籍の方が言葉がわからないことでどのような困難があるのかをシミュレーションし、ワークすることで、保育の中での配慮の仕方やかかわり方などについて考えた。今後も職員間でかかわり方や取り組みを検討していきたい。

<p>職員の資質の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に「教育保育ガイドライン」で保育の振り返りを行い、反省考察が次につながっていくよう共有し教育保育の質と環境改善の促進に努めた。 ・それぞれが受講した研修や学びは職員会議の中で報告し、職員全体が知識の共有をした。そのことが日々の教育保育につながるきっかけとなった。
<p>幼保こ小中の連携・接続</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・幼保こ小連絡会に参加し、情報交換を行った。その中で小学校の参観日を教えてもらい、卒園した子ども達がどのように生活しているのか見に行く機会をもつことができた。 ・改修工事のため、てらうちこども園としんでんこども園のプールに行き、プール遊びを経験した。お互いの園で楽しんでいる手遊びや歌など交流し刺激を受けあう機会となった。 ・次年度から乳児保育が始まることに伴い、乳児施設の見学や保育体験をさせていただく機会をもちイメージを膨らませることができた。
<p>評議員会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・てしまこども園の取り組みを理解し課題についてご意見いただけるよう、実際に園の様子を見ていただくとともに配信アプリで配信したお便りやドキュメンテーションを見ていただいた。園での取り組みや大切にしていることを伝える中で貴重なご意見をいただき保育を振り返ることができた。また、その内容を職員間で共有していった。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園の取り組みや活動のねらい、育てたい姿なども意識して配信アプリで配信することを心掛けた。

○今後取り組むべき課題（重点的に取り組むべき課題）

<p>課 題</p>	<p>具体的な取り組み方法</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・職員の資質向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・ドキュメンテーションの活用をしていく中で、活動だけを知らせるのではなく保護者に知ってほしい子どもの育ちやねらいなど、より理解してもらえるよう内容を工夫し充実に努める。 ・研修でそれぞれが学んだことを振り返り伝えあう機会をもち教育保育の資質向上に努める。
<ul style="list-style-type: none"> ・様々な個性を持つ子ども達と共に育つ保育のあり方 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の園内研究で学んだことを基に自尊感情を育むための教育保育を進めるにあたり、子どもの個性を理解し職員間での情報共有を丁寧に行っていく。

令和7年（2025年）3月31日

豊中市立 てしまこども園

園長名 黒田 法子